

登録コード	BSD81574	開講年度	2026				
授業題目	生体医工学演習（22BS以降）					担当教員	中楯 浩康
英文授業名	Seminar in Biomedical Engineering					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】深い専門知識に基づいて自らの思考や妥当性を論理的に説明できる批判的思考力					生体医工学に関連する工学の知識だけではなく、生物学、医学的背景についても学び、バイオメカニクスにおける基礎研究から臨床応用まで集学的に考察することができる。	
(2)授業の概要	修士論文の研究テーマに関連する研究論文や専門書について、参加学生が輪番で講義ないしは発表し、討論を行う。						
(3)授業計画	1．各データベースを利用し、修士論文に関連する学術論文の調査を行う。 2．特定の学術論文を決定し、それについてスライドにまとめ、発表および質疑応答も行う。 3．他の学生に発表内容に対して、議論を行う。 開講日程は、参加者に合わせるため、年度により異なる。						
(4)成績評価の方法	課題として与えられたプレゼンテーションやレポートの内容、討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	生体医工学に関する専門分野の基礎知識、文献情報等をデータベースで検索できることを「合格水準（可）」とする。 加えて、研究テーマに関連する論文を読解、要約できることを「合格水準のやや上にある（良）」とする。 加えて、研究テーマの動向を把握し、専門知識を有する研究者と討論できることを「合格水準のかなり上にある（優）」とする。 加えて、修士論文の課題を設定し、課題解決へのアプローチ方法を提示できることを「合格水準を卓越している（秀）」とする。						
(6)事前事後学習の内容	この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の自主学習が必要となります。 ・発表担当者は事前に学術論文を検索し、要点をまとめたレジュメとスライドを作成する。 ・発表担当者以外は事後に発表論文で自身の研究テーマに関連する知見や孫文献を調べる。						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	担当教員の指示に従うこと。						
(9)その他	なし						
【教科書】	なし						
【参考書】	適宜、紹介する。						